

多文化共生の第

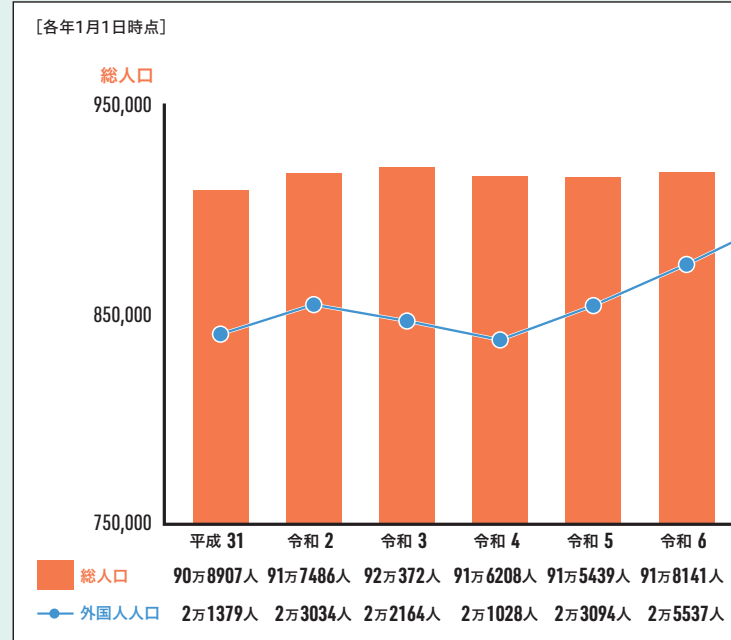
区内には約3万人、150以上もの国籍・地域の外国人住民が暮らしており、それぞれの言葉や文化、生活習慣があります。

外国人住民の中には、ことばが通じない、日本の文化や習慣が分からないといった困りごとを抱えている方がいる一方で、日本人と交流したい、地域のイベントに参加したいと思っている方々も多くいます。

こうした中で、私たち一人ひとりが、文化的違いを互いに認め合い、共に生きていくこと(多文化共生)が重要です。区では、区民の皆さんとともに、誰もが暮らしやすい多文化共生社会の実現に向けて取り組んでいます。

問文化・国際課 ☎6304-3439 FAX 6304-3710

区内在住外国人数 過去7年間の推移



にほんごきょうしつ
受講生の声

日本の制度が分からなくて、
健康保険証の手続きが
難しかったです。

にほんごきょうしつ
受講生の声

日本語が分からないので
コミュニケーションがうまく
取れません。ごみ出しのルールが
分からず困ったことがあります。



「多文化共生のまち せたがや」の実現に向けて区が行っていること

1 「世田谷区多様性を認め合い男女共同参画と多文化共生を推進する条例」の制定

多様性を認め合い、人権が尊重される社会の実現に向けて制定しました。

条例の
基本理念

- ① 全ての人々が、多様性を認め合い、人権が尊重され、尊厳を持って生きることができる
- ② 全ての人々が、自らの意思に基づき個性および能力を発揮し、多様な生き方を選択することができる
- ③ 全ての人々が、あらゆる分野の活動においてともに参画し、責任を分かち合う

区HPQ 1053

詳しくはこちら ▶▶▶



2 「世田谷区第二次多文化共生プラン」の策定

区が多文化共生施策を計画的に推進するため策定しました。

プランの
基本方針

- ① 誰もが安心して暮らせるまちの実現
- ② 地域社会における活躍の推進
- ③ 多文化共生の意識づくりおよび偏見・差別の解消

区HPQ 15412

詳しくはこちら ▶▶▶



実践! 「やさしい日本語」を使ってみましょう

「やさしい日本語」とは、外国人住民や高齢者、障害のある方などにも分かるように配慮して、簡単にした日本語のことです。外国人住民と話すとき、必ず英語で話さなければならないことはありません。「やさしい日本語」でも十分にコミュニケーションをまずは「やさしい日本語」を使って話しかけてみませんか?

「やさしい日本語」のキーワード"はさみの法則"

- ① はっきり言う
- ② さいごまで言う
- ③ みじかく言う

挑戦! 「やさしい日本語」に変換してみましょう 変換のポイント 余分な情報を削除する。一文を短くする。主語と述語を明確にする。

q.1 大地震が発生した際、余震があるかもしれません。

q.2 ごみは分別して、決められた日に出してください。

q.3 携帯電話をマナーモードにしてください。

回答例 A1. 大きい地震のあと、もう一度
A2. ごみを分ける決まりがあり
A3. 携帯電話の音がでないよう